

# 河川工事等特記仕様書

令和5年4月  
横浜市道路局河川事業課

本工事は次の基準・特記仕様書を適用する。  
適用仕様書等については、本工事の公告日時点のものを適用すること。

基準・仕様書等名称	備考
■ 河川工事等完成図書のとめ方	別紙(1)
<input type="checkbox"/> 下水道管きょ工事仕様書	環境創造局 ホームページ
<input type="checkbox"/> 横浜市下水道設計標準図（管きょ編）	環境創造局 ホームページ
<input type="checkbox"/> 局地的な大雨に対する下水道管きょ内工事等の安全に関する特記仕様書	環境創造局 ホームページ
<input type="checkbox"/> マンホール接続部使用表	環境創造局 ホームページ
<input type="checkbox"/> マンホールと本管接続部の耐震施工仕様書	環境創造局 ホームページ
<input type="checkbox"/> マンホール鋳鉄ふた特記仕様書	環境創造局 ホームページ
<input type="checkbox"/> 公園緑地設計指針	環境創造局 ホームページ
<input type="checkbox"/> 公園緑地施設標準図集	環境創造局 ホームページ
<input type="checkbox"/> 公園緑地工事施工管理基準	環境創造局 ホームページ
<input type="checkbox"/> 公園緑地工事写真管理基準	環境創造局 ホームページ

## 河川工事等完成図書のとめ方

### 1 河川工事関連

- (1) 電子データ（CD-R）1枚作成。（河川事業課保管用）  
別紙「河川工事関連電子データ（CD-R）について」に基づき作成する。
- (2) 地質調査資料一式  
現場で追加調査した資料があれば設計担当者に1部提出する。

### 2 調整池関連工事

- (1) 雨水調整池台帳  
A3版黒表紙で2部作成。（土木事務所保管用及び引継ぎ用）  
背表紙に金文字で雨水調整池名、表紙に金文字で雨水調整池名・完成年月日・発注者名  
・設計者名・請負業者名を記入する。  
完成図面（A3縮小版）・全体施設写真（キャビネ版）・施設詳細写真・施設概要一覧  
表・構造計算・水理計算（発注課配布）を一括して製本する。
- (2) 電子データ（CD-R）1枚作成。（河川事業課保管用）  
別紙「河川工事関連電子データ（CD-R）について」を参考に作成する。
- (3) 地質調査資料一式  
現場で追加調査した資料があれば設計担当者に1部提出する。

### 3 橋梁工事

上記1とは別に、次の書類等を作成する。

- (1) 橋梁台帳の作成  
所定の様式（エクセルデータファイル）に記入する。

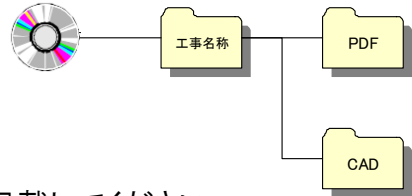
## 河川工事関連電子データ(CD-R)について

河川工事関連電子データ(CD-R)を作成する場合は、次のとおりとします。

- ・竣工図はPDFおよびCADデータを、CD格納するものとします。
- ・CD内のフォルダ構成は次のとおりです。

工事名称のフォルダの中にPDFのフォルダとCADデータのフォルダを作成し、データを格納します。

CADのデータ形式は、dwg形式とします。



- ・CDのラベル面、及びケースには次の必要事項を記載してください。

工事名称	工事名称：〇〇川改修工事 竣工年月：令和〇〇年〇月
竣工年月	施工場所：横浜市〇〇区〇〇町〇〇番地から 横浜市〇〇区〇〇町〇〇番地まで
施工会社名	施工地点：右岸No. 000～No. 000 左岸No. 000～No. 000  発注者：横浜市道路局河川事業課 施工会社：〇〇〇〇株式会社

(CDケース記載例)



(CDラベル記載例)